資産形成なら SMAM
Sumitomo Mitsui Asset Management

情報提供資料

2018年10月3日

アジア・オセアニア 豆知識

※当資料は「アジアリサーチセンター」のレポートを基に作成しています。

LCCでつながる日本とアジア

ローコストキャリア（LCC）の台頭は航空ビジネスの勢力図を変えつつあります。LCCは、サービスの簡素化・一律化、座席密度の引上げ、機体稼働率の引上げ等により低価格を実現し利用者を増やしています。LCCの普及は、アジア各国・地域の国際空港の整備拡充と相まって、今後ますますアジア域内の人の移動を活発にしそうです。

アジア域内の海外旅行需要の増加でLCCが台頭

格安運賃を提供するLCCがアジアの空を席巻しています。LCCとしてはアメリカのサウスウェスト航空やアイルランドのライアンエアー等が有名でしたが、2000年代以降、アジアの所得向上や旅行需要の増加に応じて、アジア各国・地域で続々とLCC会社が設立されました。図表１はアジアの主だった格安航空会社とその就航国です。一般にLCCの座席はピッチが狭く窮屈ですが、格安運賃と天秤にかけて考えると、アジア域内の比較的短時間のフライトには適しているといえそうです。

香港と日本を約4時間で結ぶ香港エクスプレスは羽田・成田を含む日本の10都市に就航しています。香港から日本への海外旅行需要は多様化しており、高松や鹿児島などの地方中核都市への直行便も目立ちます。

所得水準が向上し海外旅行が習慣化しつつあるアジア各国・地域の旅行需要は、今後ますます増加する見通しです。需要増加に対応して、各都市の国際空港は整備拡充を進め、LCCも増便が見込まれます。

図表1 <アジアのLCC>

航空会社名	設立	本拠地	ハブ空港	主な就航国・地域
春秋航空	2004年	上海	上海国際空港	日本、香港、韓国、台湾、シンガポール、マレーシア、タイ、カンボジア
ジンエアー	2007年	ソウル	仁川国際空港	タイ、ラオス、フィリピン、マレーシア、ベトナム、中国、台湾、香港、マカオ、日本、米国
香港エクスプレス	2004年	香港	香港国際空港	中国、カンボジア、日本、韓国、台湾、タイ、米国、ベトナム
スクート・タイガーエアー	2012年	シンガポール	チャンギ国際空港	米国、中国、マレーシア、オーストラリア、日本、台湾、香港、韓国、タイ、インド、ギリシャ
エアアジア	2001年	クアラルンプール	クアラルンプール国際空港	米国、イラン、インド、インドネシア、オーストラリア、ニュージーランド、カンボジア、サウジアラビア、シンガポール、スリランカ、タイ、ネパール、バングラデッシュ、フィリピン、オマーン、ブルネイ、ベトナム、マカオ、ミャンマー、モルジブ、ラオス、中国、香港、マカオ、台湾、日本、韓国、モーリシャス
ノックエアー	2004年	バンコク	ドンムアン空港	オーストラリア、中国、香港、マレーシア、ミャンマー、ベトナム、台湾、日本、シンガポール、フィリピン
ライオンエアー	1999年	ジャカルタ	スカルノハッタ国際空港	マレーシア、ベトナム、シンガポール
セブ・パシフィック・エアー	1988年	セブ	マクタン・セブ国際空港	中国、韓国、日本、台湾、香港、マカオ、ベトナム、カンボジア、タイ、マレーシア、シンガポール、インドネシア、オーストラリア、米国

（出所）各航空会社のホームページを基に三井住友アセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。